

大津市内における実証実験 「大津市自動運転・京阪バス大津市内乗車券アプリ」のサービス開始

大津市(市長：佐藤 健司)と京阪バス株式会社(本社：京都市南区、社長：鈴木 一也)とBIPROGY株式会社(本社：東京都江東区、社長：平岡 昭良)は、公共交通の利用促進や回遊性を向上させるアプリ「大津市自動運転・京阪バス大津市内乗車券アプリ」を本日より提供開始します。

本アプリは、大津市が国土交通省の令和3年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金(自動運転実証調査事業)に採択され、2022年12月10日(土)より開始した自動運転バス実証実験で提供するアプリです。本アプリにはBIPROGY株式会社のアプリケーションサービス「L-PASS」を採用しています。L-PASSはおでかけの目的を選ぶことを起点に、地域店舗や施設のデジタルクーポン、公共交通から提案される経路検索までをシームレスに提供するSaaS型サービスです。

大津市では、公共交通利用者数や来訪者の観光消費額が減少傾向にあるなか、まちなかの魅力となる地域のイベントや店舗/施設情報の配信、乗車券や地域クーポンをデジタルで提供することで、大津市民/来訪者のおでかけ意欲を高めます。

【利用画面イメージ】



1. 提供期間 2022年12月13日(火)～2023年2月28日(火)
2. 提供機能
 - ・ イベント/店舗/施設情報配信
 - ・ デジタル乗車券購入機能(クレジットカード決済)
 - ・ クーポン配信(無料版) ※会員登録者が利用可
 - ・ 経路検索機能

3. 販売するデジタル乗車券

- ・自動運転バス片道チケット (大人 210 円 小児 110 円)
※販売期間：2022 年 12 月 13 日 (火) ~2023 年 2 月 4 日 (土)
- ・京阪バス大津市内 1 日フリーきっぷ (大人 600 円 小児 300 円)



「大津市自動運転・京阪バス大津市内乗車券アプリ」

※アプリは、iOS をご利用の方は App Store、Android をご利用の方は Google Play からダウンロードできます。

【今後の取り組み】

本取り組みは 2019 年度に 3 者で締結した「持続可能なまちづくり」の実現に向けた MaaS 推進協定に基づく取り組みの一環となります。大津市における地域アプリの提供を目指すにあたり、移動総量を底上げするための充実したコンテンツの用意、大津市民や来訪者が希望する多様なサービスの連携や機能拡大を図ります。また、アプリから得られるデータや他事業者が保持しているデータの連携/利活用することで、「持続可能なまちづくり」の実現を次年度以降も目指します。

■関連リンク

「2022 年度大津市自動運転バス実証事業内容」:

<https://www.city.otsu.lg.jp/soshiki/036/1801/g/kotsu/3485125.html>

「地域交通 DX サービス L-PASS」: <https://l-pass.jp/>

「大津市/京阪バス/日本ユニシスにおける持続可能なまちづくりの実現に向けた MaaS 推進協定ニュースリリース」: https://www.biprogy.com/pdf/news/nr_190704_maas.pdf

<本ニュースリリースに関するお問い合わせ>

https://www.biprogy.com/newsrelease_contact